

平成21年度

研究紀要

第23号

川崎市総合教育センター

はじめに

今日の社会は価値観の多様化、国際化、情報化、少子高齢化など急速な変化を遂げ、教育においても課題が山積しています。このような状況において、これからの教育には子どもたち一人一人に「生きる力」を培っていくことが、一層求められています。

川崎市総合教育センターは、学校教育の内容や教育指導の充実・改善、教職員の資質・指導力の向上、特別支援教育や情報・視聴覚教育、幼児教育の推進、教育相談体制の確立等について、主導的な役割を果たす立場にあり、設立以来、川崎の教育の創造と発展に資することを目的とした調査研究を行ってまいりました。

今年度も、昨年と同様に「政策課題研究」「調査・基礎研究」「実践研究」「外部機関との共同研究」と4つの研究分野を設定し、研究総括主題を『一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造』といたしました。キーワードである『自ら学ぶ』・『ともに学ぶ』・『学び続ける』は継承し、各室がそれぞれの特性を發揮しながら、相互の関連を密にして調査・研究を進めてまいりました。

ここに、平成21年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要第23号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様の授業や研究の充実・改善に役立つことができれば幸いです。忌憚のないご指導並びにご批正を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、当総合教育センター専門員をはじめ多くの方々からご指導やご助言をいただきました。改めて深く感謝いたしますとともに、それぞれの研究にお力添えをいただきました関係の方々に厚くお礼申し上げます。

2010年3月

川崎市総合教育センター
所長 竹田 文夫

目 次

研究の基本構想及び取組	1
教育研究所連盟における発表	4
小学校5年生・中学校1年生における学級風土と教師の実践知について ・・・・カリキュラムセンター指導主事研究会議	5
共同研究校とつくるモラル教育 ・・・・情報・視聴覚センター指導主事研究会議教	33
幼児教育の質の向上をめざして ・・・・幼児教育センター指導主事研究会議	39
聞く意識を働かせる学習指導の研究 ・・・・国語科研究会議	45
楽しい鑑賞の授業をめざして ・・・・音楽科研究会議	61
自分を見つめる道德の時間 ・・・・道德教育研究会議	77
コミュニケーションの素地を育てる指導 ・・・・小学校外国語活動研究会議	93
自己指導能力を高める学級活動の展開 ・・・・特別活動研究会議	109
高校生のストレスマネジメントに関する研究 ・・・・高校教育研究会議	125

学びを促す映像教材の開発 ・ ・ ・ ・映像制作研究会議	141
子ども同士の学び合いを支える教育相談的なかかわり ・ ・ ・ ・学校教育相談研究会議	157
「話し合う」力の向上をめざす国語科学習指導 ・ ・ ・ ・専門研究員による研究	173
一人一人を大切にせる教育相談の可能性 ・ ・ ・ ・カウンセラー研究員による研究	179
自分のからだを把握し、伝えることができる健康教育 ・ ・ ・ ・健康教育研究会議	185
人とのかかわりを通して国際教育がめざす個人の態度・能力を育てる授業のあり方について ・ ・ ・ ・国際理解教育研究会議	191
児童生徒のICT活用を高めるための手立て ・ ・ ・ ・ICT教育利用研究会議	197
川崎市における特別支援学校による地域支援のあり方 ・ ・ ・ ・特別支援教育研究会議	203

